

報告第12号

専決処分したものの報告について

市長に委任する専決処分事項の指定について（平成28年12月27日議決）の規定により、下記の事項について別紙のとおり専決処分したから、地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第2項の規定により報告する。

令和元年6月20日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

記

1 和解の申立てについて

専決第7号

和解の申立てについて

和解の申立てについて、市長に委任する専決処分事項の指定について（平成28年12月27日議決）の規定により、下記のとおり専決処分する。

令和元年6月6日専決

豊岡市長 中 貝 宗 治

記

1 和解の相手方

氏 名	住 所
[REDACTED]	[REDACTED]

2 和解の要旨

市営住宅での、近隣入居者への迷惑行為が認められたことから、相手方に改善するよう指導等を行ってきた。その後相手方から令和元年5月31日に自主退去するとの書面での申出があったが、約束は守られなかった。

その後、相手方と協議したところ、退去に関して猶予期間の申出があったため、明渡し期限を令和元年7月31日とし、令和元年6月7日に訴えの提起前の和解を簡易裁判所に申立てたものである。

報告第 13 号

株式会社日高振興公社第 25 期の決算及び第 26 期の事業計画に関する
書類について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の 3 第 2 項の規定により、別紙の
とおり報告する。

令和元年 6 月 20 日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

決算等の状況の報告

株式会社 日高振興公社

株式会社 日高振興公社 第25期 事業報告

1 事業の経過および成果

当事業年度における国内経済をみると、実質GDP（国内総生産）成長率は一進一退を繰り返し、外需が減速感を強める中、景気は踊り場を迎えています。また、雇用・所得環境は改善傾向を持続しつつも、失業率は低下し、労働需要は引き続きひっ迫しています。それに伴い、賃金の伸びがやや高まる中、個人消費や設備投資といった内需の高い伸びが外需のマイナスを補うかたちとなりました。

一方、但馬地域に目を向けてみると、交通網の拡張により、北近畿豊岡自動車道が延伸し、利便性が良くなる中で、道の駅「やぶ」が近年の営業悪化により、今年2月28日をもって閉店しています。この自動車道は2020年度に（仮称）豊岡南ICまで延伸することが決定しています。これにより現在の終点である日高神鍋高原ICは通過点となり、日高町への入込数の減少が想定されることから、さらなる対策を講じる必要があると考えます。

また、この冬は暖冬による雪不足のため、神鍋高原スキー場の入山者は、昨年を大幅に下回り8万9千人（4万5千人減）となりました。特にアップかなべは2万8千人（2万6千人減）、営業も2月18日までと大変厳しい状況でした。

このような状況の下、当社は「地域と共に創る個性ある道の駅」を目指し、様々なイベントの実施や神鍋高原のおみやげ開発などに取り組んで参りました。

また、従業員の職務能力向上を図るため、兵庫県道の駅巡り、他府県の事業所訪問やコンサルタントの指導、地元企業との連携強化により、イベント集客・ランチビューフェの演出・店舗展開（坪単価・客単価アップ）等、「個性ある道の駅作り」のために研修を行いました。

毎月開催している社員会議では、各部門ごとに経費実態・新規イベント計画・新商品開発・設備投資計画等、勉強会を適時実施しました。様々な取り組みを行いました。道の駅「神鍋高原」の来店客数は129,479人（前年度：144,262人）となり、14,783人減少しました。

また、「神鍋温泉ゆとろぎ」の入館者数は69,483人（前年度：78,109人）と、8,626人減少する結果となりました。

結果、当事業年度における業績は、

売上高	194,725千円	（前年度比：92%	18,116千円減）
営業利益	2,395千円	（前年度比：97%	76千円減）
経常利益	4,109千円	（前年度比：77%	1,197千円減）
当期純利益	3,898千円	（前年度比：77%	1,197千円減）
			（前年度：5,094千円）となりました。

(1) 道の駅「神鍋高原」

① 売店部門

今年も客単価アップ及び利便性の向上を求め、ショッピングカートを導入し、店内のレイアウトは余裕を持った動線・通路の確保を行いました。また、レジ袋削減の為、ストアテープを利用し、紙袋は有料化を実施しました。レジ袋もロゴ印字タイプと無地タイプを併用し、コスト削減に努めました。屋外では「イチゴ・スイカ」などの農産物や「新米まつり」などのイベントのぼり旗を多数購入し、誘客に努めました。

新しい取り組みとして、冷凍魚の干し物販売や冬のスキー客に向けて、雪遊びグッズコーナーを新設し、商品を充実させました。イベントでは町内では珍しいお菓子のお店を集めた「かんなベススイーツバール」を開催し、大変賑わいました。

また、地域連携として、北部農業技術センターのご協力により、「下仁田ねぎ」と「岩津ねぎ」を交配させた新品種「神鍋ねぎ」を試験栽培し、12月に収穫・試食販売を行い、次年度は生産量を増やし、特産品として販売する準備が整いました。

さらに、下記の商品を道の駅「神鍋高原」でしか購入できない商品（PB商品）と位置付け、他店舗との差別化を図りました。

○キャベツチップ	年間販売数： 5,500 個	売上金額：2,500 千円
○キャベツカレー	年間販売数： 1,100 個	売上金額： 520 千円
○キャベツコロケ	年間販売数： 1,000 個	売上金額： 100 千円
○神鍋素材ジェラート	年間販売数： 360 個	売上金額： 155 千円
(イチゴ・リンゴ・スイカ)		
○ほんまもん神鍋	年間販売数：11,800 個	売上金額：7,700 千円

② 飲食部門

「全但バス神鍋線利用促進イベント」を開催し、「神鍋フェア」と称した鍋イベントでは、昨年につき、醤油で有名な花房商店（竹野町）と企業連携を行い、オリジナル鍋のコース料理を提供しました。さらに、日高農林産物加工研修所の利用促進として、手作り味噌教室を行い、初開催ながら次回開催への要望がありました。

平日の集客に向け、昨年度から実施した地元食材を使用した「但馬牛肉そば」を定番化しました。販売数量 580 食、売上金額 550 千円となり、麺類の中では一番人気の料理となりました。また、次年度に向け、平日の集客に繋がるメニュー開発を行っています。

土、日、祝日のランチビュッフェでは、客数 16,000 名、売上金額 17,000 千円となり、昨年より客数 630 名、売上金額 530 千円と僅かですが増加しました。

また、毎月定休日を設けた効率的な運営は、経費削減に繋がる一方で、定期的な清掃・点検日とし、衛生面にも、目配りができる環境となりました。

③ 神鍋温泉ゆとろぎ部門

地域連携による季節湯を実施しました。4月は但東チューリップまつりのチューリップ湯をはじめ、菖蒲湯やゆず湯など、見た目も香りも楽しんでいただくことができました。

また、長年ご協力いただいている「スキーリフト券」利用者割引（7,491名利用）をはじめ、平成28年から行っているフォレストアドベンチャー奥神鍋（457名利用）、パラグライダースクール（88名利用）、全但バス但馬ドーム（198名利用）と提携した割引サービスは非常に効果がありました。

本年度の新たな取り組みとして、3月に15枚綴りの特別回数券を数量限定販売し、リピーターに向けた購入促進サービスを行いました。7月には顧客の動向調査のためのアンケートを実施し、花の苗をプレゼントしました。

また、9月からは平日の営業開始時間を12時から13時へ変更し、経費削減に努めました。さらに、温泉専門コンサルタントを入れ、入浴以外のお土産やガチャガチャなどの商品を強化したほか、バスタオルと入浴券等をセット商品として販売しつつ、マッサージ機の増設や無料エクササイズアイテムを設置しました。

広告宣伝では、HPやFBは基より、毎月「神鍋ほっこり通信」を町内6,000部、村岡区1,900部の折込チラシを配布したり、店外では「テレビ付きサウナ」や「女性専用メイクルーム」など、利用者目線を意識したのぼり旗を立て、誘客に繋げました。

2 事業実績

売上高の推移

単位：千円

区 分	第 23 期	第 24 期	第 25 期
売店部門	120,993	125,684	116,322
飲食部門	40,755	41,477	36,015
温泉部門	39,808	41,654	38,382
市受託料	4,077	4,026	4,006
合 計	205,633	212,841	194,725

営業成績、財産状況の推移

単位：千円

区 分	第 23 期	第 24 期	第 25 期
経常利益	1,926	5,306	4,109
当期純利益	1,715	5,094	3,898
総資産	32,137	39,231	37,761
純資産	16,204	21,299	25,196

3 会社の概要

(1) 資本金

資本金	36,000,000 円
-----	--------------

(2) 株式の状況

発行済株式総数	720 株
うち豊岡市保有分	400 株

(3) 役員の状況

役職名	役員名
代表取締役	笠 原 泰 藏
専務取締役	久 田 喜三郎
取 締 役	小田根 厚 芳
取 締 役	小 谷 士 郎
取 締 役	岡 森 且 哉
取 締 役	原 清 美
監 査 役	小 林 辰 美
監 査 役	廣 田 勝 彦

(4) 社員（従業員）の状況

区分	人数	構成
社 員	5	男性 3 人、女性 2 人
パート	15	男性 2 人、女性 13 人
計	20	男性 5 人、女性 15 人

決 算 報 告 書

第 25 期

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

株式会社 日高振興公社

兵庫県豊岡市日高町栗栖野59-13

貸借対照表

(単位：円)

株式会社 日高振興公社

平成31年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 32,990,444】	【流 動 負 債】	【 12,564,951】
現金及び預金	29,709,933	買掛金	1,272,988
売掛金	358,033	受託未払金	2,641,668
商 品	398,288	未 払 金	6,328,014
原 材 料	457,401	預 り 金	24,981
貯 蔵 品	400,590	法人税等充当金	213,200
未 収 入 金	1,666,199	未 払 消 費 税	2,084,100
【固 定 資 産】	【 4,770,898】	負 債 の 部 計	12,564,951
(有形固定資産)	(4,770,898)	純 資 産 の 部	
建 物	3,697,325	【株 主 資 本】	【 25,196,391】
建物付属設備	277,110	[資 本 金]	[36,000,000]
車 両 運 搬 具	2	[利 益 剰 余 金]	[Δ10,803,609]
工 具 器 具 備 品	584,041	利 益 準 備 金	9,000,000
一 括 償 却 資 産	212,420	(その他利益剰余金)	(Δ19,803,609)
		繰越利益剰余金	Δ19,803,609
		(うち当期純利益)	(3,897,827)
		純 資 産 の 部 計	25,196,391
資 産 の 部 計	37,761,342	負 債 ・ 純 資 産 の 部 計	37,761,342

損 益 計 算 書

(単位：円)

自 平成30年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 平成31年 3月31日

科 目	金	額
【売 上 高】		
売 店 売 上	116,321,271	
市事業委託料等	4,006,264	
レストラン売上	36,015,473	
温 泉 売 上	38,382,428	194,725,436
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	1,447,207	
仕 入 高	81,351,843	
材 料 費	15,011,071	
合 計	97,810,121	
期 末 棚 卸 高	855,689	96,954,432
売 上 総 利 益		97,771,004
【販売費及び一般管理費】		95,376,204
営 業 利 益		2,394,800
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	853	
雑 収 入	1,714,501	1,715,354
【営 業 外 費 用】		
雑 損 失	1,200	1,200
経 常 利 益		4,108,954
【特 別 損 失】		
固 定 資 産 除 却 損	2	2
税 引 前 当 期 純 利 益		4,108,952
法 人 税 等 充 当 額		211,125
当 期 純 利 益		3,897,827

販売費・一般管理費内訳書

(単位：円)

自 平成30年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 平成31年 3月31日

科 目	金 額
役員報酬	4,313,800
給料手当	31,835,656
福利厚生費	6,466,942
雑給	7,332,021
シルバー委託費	2,383,348
広告宣伝費	2,368,231
運賃	79,472
燃料費	6,077,250
衛生費	6,995,406
一括資産償却費	296,750
水道光熱費	10,895,129
会議費	82,994
事務費	1,312,450
消耗品費	3,296,072
地代家賃	38,100
支払保険料	535,390
修繕費	457,936
租税公課	4,498,600
減価償却費	984,652
接待交際費	396,171
旅費交通費	98,820
通信費	412,692
支払手数料	2,141,139
賃借料	1,597,410
諸会費	340,600
購読費	62,613
雑費	76,560
合 計	95,376,204

株主資本等変動計算書

株式会社 日高振興公社

自平成30年 4月 1日
至平成31年 3月31日

(単位:円)

	株 本				資 本				株 主 資 本 計 合	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	新 株 予 約 権	純 資 産 合 計
	資 本		利 益		利 益		剰 余 金					
	資 本 金	資 本 準 備 金	資 本 準 備 金	利 益 準 備 金	利 益 準 備 金	剰 余 金	剰 余 金	剰 余 金				
当期首残高	36,000,000			9,000,000	△23,701,436				21,298,564			21,298,564
当期変動額												
当期純利益								3,897,827				3,897,827
当期変動額合計								3,897,827				3,897,827
当期末残高	36,000,000			9,000,000	△19,803,609				25,196,391			25,196,391

	利 益 剰 余 金 の 内 訳		利 益 剰 余 金 計
	利 益 準 備 金	剰 余 金 合 計	
当期首残高	9,000,000	△14,701,436	△5,701,436
当期変動額			
当期純利益		3,897,827	3,897,827
当期変動額合計		3,897,827	3,897,827
当期末残高	9,000,000	△10,803,609	△1,803,609

個 別 注 記 表

自 平成30年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 平成31年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成している。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

原材料・商品・貯蔵品 …………… 最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 …… 平成10年4月1日以後に取得した建物及び平成28年4月1日以後に
取得した建物附属設備・構築物は定額法、それ以外は定率法

無形固定資産 …… 定額法

収益及び費用の計上基準

原則として収益は実現主義により、費用は発生主義により計上している。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 …………… 税込方式で計上している。

2. 貸借対照表に関する注記

固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額 …… 34,550,024 円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末日における発行済株式の数 …… 720 株

当事業年度末日における自己株式の数 …… 0 株

4. 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額 …… 34,994 円 98 銭

1株当たりの当期純利益 …… 5,413 円 64 銭

監 査 報 告

私達監査役は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの第25期事業年度の貸借対照表、損益計算書、株主資本変動計算書、個別注記表、事業報告および付属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和元年5月23日

監 査 役 小 林 辰 美

監 査 役 廣 田 勝 彦

株式会社 日高振興公社 第26期（次期）事業計画及び予定損益計画

事業計画

2019年度は5月に平成から令和に変わり、大型連休による令和消費で、例年以上の賑わいとなりました。ただ、10月には消費税増税が想定され、利用客の買い控えや企業によるレジスターなどのシステム変更に伴う投資など、懸念材料は否めません。さらに4月より働き方改革関連法案の一部が施行され、残業時間短縮が所得・消費の伸びを抑制すると考えられています。

また、「道の駅」は、2019年4月現在で昨年から9駅増え、登録数1,151駅になりました。一方で、道の駅「やぶ」のように北近畿豊岡自動車道が延伸し、利便性が良くなる中で、閉店になる駅も現実には起こっています。当社も目前に迫った日高神鍋高原 IC 延伸に備え、通過点ではなく、目的地としての基盤作りを講じる必要があると考えます。

当社については、但馬地域の企業・団体連携を活かして地域交流促進や地域資源の見直しを行い、6次産業を目指し、地域振興・地域活性化の事業を展開します。

売店部門では、初の取組みとして、兵庫県内の高校生が実習課程で製造したクッキーや、さばの缶詰、栽培した花苗の販売等を行い、学校の魅力を発信する新たな事業を展開します。

飲食部門は、土日祝日のランチビュッフェの効率化を図る為に、時間制を導入し、より多くの利用客に提供できるように努力します。また、平日の利用促進の為に新商品の開発を実施します。

温泉部門は、入浴料とバスタオル込みのセット販売など客単価の底上げを行います。また、入浴以外のお土産物やマッサージ機など提供アイテム数を増やし、利用客の利便性の向上に努めます。

情報発信に関しては、引き続き「神鍋ほっこり通信」を毎月発行するとともに、フェイスブックなどSNSを駆使する等、多様なチャンネルを利用します。また、店外では季節の野菜やイベントなどの幟旗を新調し、神鍋高原の魅力を分かりやすく発信します。

神鍋高原では、6月の兵庫神鍋高原マラソン全国大会や11月の但馬まるごと感動市など大きなイベントが計画されています。夏季のスポーツ大会や冬季のスキーの他に、マウンテンバイクやゴーカートなど、非日常体験を楽しめる新しいアクティビティも徐々に増えています。当社でも、地域と共に創る個性ある道の駅を目指し、話題性に富んだ事業を展開して地域の賑わいを創り出せるよう取り組みます。

予定損益計画

予定損益計算書

自 平成31年4月1日

株式会社 日高振興公社

至 令和2年3月31日

科 目	金	額
(営業損益の部)		円
【売上高】		
売 上	220,000,000	
受 託 料 等	4,400,000	
		224,400,000
【売上原価】		
期 首 棚 卸 高	855,000	
材 料 費	20,000,000	
仕 入 高	92,400,000	
合 計	113,255,000	
期 末 棚 卸 高	855,000	112,400,000
売 上 総 利 益		112,000,000
【販売及び一般管理費】		105,500,000
営 業 利 益		6,500,000
(営業外損益の部)		
【営業外収益】		
受 取 利 息	1,000	
雑 収 入	499,000	500,000
【営業外費用】		
支 払 利 息 等	10,000	
雑 損 失	10,000	20,000
経 常 利 益		6,980,000

予定販売費及び一般管理費内訳書

自 平成 31 年 4 月 1 日

株式会社 日高振興公社

至 令和 2 年 3 月 31 日

科 目	金	額
		円
役 員 報 酬	4,300,000	
給 料 手 当	36,000,000	
退職給与引当金戻入	0	
福 利 厚 生 費	6,700,000	
雑 給	8,500,000	
シ ル バ - 委 託 費	3,000,000	
広 告 宣 伝 費	3,000,000	
運 賃	50,000	
燃 料 費	6,300,000	
衛 生 費	7,200,000	
水 道 光 熱 費	11,500,000	
一 括 資 産 償 却 費	300,000	
会 議 費	100,000	
事 務 費	1,400,000	
消 耗 品 費	3,600,000	
地 代 家 賃	40,000	
支 払 保 険 料	600,000	
修 繕 費	500,000	
租 税 公 課	4,500,000	
減 価 償 却 費	1,100,000	
接 待 交 際 費	400,000	
旅 費 交 通 費	120,000	
通 信 費	430,000	
支 払 手 数 料	2,500,000	
貸 借 料	1,700,000	
諸 会 費	400,000	
購 読 費	60,000	
備 品 費	1,100,000	
雑 費	100,000	
合 計		105,500,000

報告第 14 号

株式会社シルク温泉やまびこ第 15 期の決算及び第 16 期の事業計画に
関する書類について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の 3 第 2 項の規定により、別紙の
とおり報告する。

令和元年 6 月 20 日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

決算等の状況の報告

株式会社 シルク温泉やまびこ

報告承認事項

第 15 期事業報告及び決算報告

1 事業報告

今年度は名古屋からのバスツアーの誘致ができ、早めの企画宣伝により先行予約が増え、高単価のプランの販売ができました。

又、マナー講習会を年に 3 回実施し、よりお客様に喜んでいただけるように前向きに取り組んだ結果アンケート評価も上がってきました。

結果

総売上 361,453 千円 予算比 100.7% 前期比 103.3%

営業利益 4,012 千円 予算比 324.1%

経常利益 9,182 千円 予算比 147.5% となりました。

株主様を始め関係者皆様のご支援、ご協力のおかげで予算達成することができました。ありがとうございます。

各部門の利用者数は、宿泊、休憩 19,636 人 前期比 106.7% 温泉 135,080 人 前期比 97.7%、自然の郷では 1,843 人 前期比 96.5%となりました。

次に部門別売上高が、宿泊 220,174 千円、前期比 110.4%、温泉 72,023 千円、前期比 98.3%、売店 51,520 千円、前期比 100.7%、自然の郷 7,096 千円、前期比 95.7%となりました。

販売管理費におきましては、前期比△8,981 千円削減できました。

内容としては、水道光熱費で前期比△3,684 千円 燃料費で前期比△1,729 千円 衛生費で前期比△1,972 千円 修繕費で前期比△1,635 千円 外注費で前期比△1,288 千円での 5 部門が多く削減できました。

要因としては日々のデマンド管理、燃料入札先増(2 社⇒5 社)による単価の安定、温泉ポンプ類の入り切り時間変更、昨年度交換いただいた循環ろ過装置、膨張タンクの正常運転によるメンテナンス費用、上下水道費の影響が大きいです。

来期も役員、社員一丸となり予算達成に取り組んでまいりますので、株主様を始め関係者皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2 事業実績

売上高の推移

(単位：千円)

区 分	第 13 期	第 14 期	第 15 期
宿泊部門	185,224	199,492	220,174
売店部門	50,850	51,183	51,520
食堂部門	26,973	7,843	(注)
温泉部門	79,760	73,297	72,023
自然の郷部門	7,153	7,413	7,096
フィールドゴルフ部門	378	237	252
業務委託部門	6,542	6,584	6,551
自販機売上	3,527	3,807	3,837
合 計	360,405	349,856	361,453

(注)「食堂部門」第 15 期は年間を通じ外部委託のため、当該区分売上高なし

営業成績、財産状況の推移

(単位：千円)

区 分	第 13 期	第 14 期	第 15 期
営 業 利 益	△10,629	△8,913	4,012
当 期 純 利 益	△4,269	△3,280	8,970
総 資 産	91,872	88,162	99,262
純 資 産	71,466	68,186	77,155

3 会社の概要

(1) 資本金

資本金	50,000,000 円
-----	--------------

(2) 株式の状況

発行済株式総数	1,000 株
うち豊岡市保有分	510 株

(3) 役員の状況

役 職 名	役 員 名
代表取締役	奥田清喜
取 締 役	植田安雄
取 締 役	森友敏則
取 締 役	永井辰正
取 締 役	福田 茂
取 締 役	岸本直幸
監 査 役	小林辰美
監 査 役	柴田誠一

(4) 社員（従業員）の状況

区 分	人 数	構 成
社 員	18	男性 11 人、女性 7 人
パート・嘱託	7	男性 2 人、女性 5 人
計	25	男性 13 人、女性 12 人

決 算 報 告 書

第 15 期

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

株式会社 シルク温泉やまびこ

兵庫県豊岡市但東町正法寺165

貸借対照表

(単位：円)

株式会社 シルク温泉やまびこ

平成31年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 95,137,194】	【流動負債】	【 22,106,738】
現金及び預金	83,578,002	買掛金	8,930,019
売掛金	5,262,764	未払金	9,615,046
商品	1,143,571	前受金	66,000
貯蔵品	1,413,866	預り金	632,973
未収入金	3,675,991	法人税等充当金	211,500
前払費用	63,000	未払消費税	2,651,200
【固定資産】	【 4,124,987】	負債の部計	22,106,738
(有形固定資産)	(3,327,035)		
建物	998,997		
建物付属設備	1,361,232		
構築物	34,536		
車両運搬具	2		
工具器具備品	895,728		
一括償却資産	36,540		
(無形固定資産)	(137,952)		
敷金	126,000		
ソフトウェア	11,952		
(投資その他の資産)	(660,000)		
出資金	660,000		
		純資産の部	
		【株主資本】	【 77,155,443】
		[資本金]	[50,000,000]
		[利益剰余金]	[27,155,443]
		利益準備金	12,500,000
		(その他利益剰余金)	(14,655,443)
		別途積立金	5,000,000
		繰越利益剰余金	9,655,443
		(うち当期純利益)	(8,969,810)
		純資産の部計	77,155,443
資産の部計	99,262,181	負債・純資産の部計	99,262,181

損 益 計 算 書

(単位：円)

自 平成30年 4月 1日

株式会社 シルク温泉やまびこ

至 平成31年 3月31日

科 目	金 額	
【売 上 高】		
宿 泊 売 上 高	220,174,467	
売 店 売 上	51,520,462	
温 泉 売 上	72,022,746	
自 然 の 郷 売 上	7,095,600	
フ ィ ー ル ド 売 上	251,920	
業 務 委 託 売 上	6,550,880	
自 販 機 売 上	3,837,339	361,453,414
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	1,334,936	
仕 入 高	134,620,435	
材 料 仕 入	715,135	
飲 料 仕 入	6,583,508	
合 計	143,254,014	
期 末 棚 卸 高	1,143,571	142,110,443
売 上 総 利 益		219,342,971
【販 売 費 及 び 一 般 管 理 費】		215,331,425
営 業 利 益		4,011,546
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	5,251	
雑 収 入	5,165,427	5,170,678
経 常 利 益		9,182,224
【特 別 損 失】		
固 定 資 産 売 却 除 却 損	6	6
税 引 前 当 期 純 利 益		9,182,218
法 人 税 等 充 当 額		212,408
当 期 純 利 益		8,969,810

販売費 - 一般管理費内訳書

(単位：円)

自 平成30年 4月 1日

株式会社 シルク温泉やまびこ

至 平成31年 3月31日

科 目	金 額	
役員報酬	3,264,000	
給料手当	69,274,747	
法定福利費	10,256,233	
福利厚生費	2,288,504	
雑給	308,301	
シルバー委託費	8,879,780	
広告宣伝費	6,457,444	
運賃	135,467	
サ一ビス費	1,848,986	
燃料費	15,829,791	
衛生費	15,116,498	
リース料	143,640	
外注費	8,270,597	
水道光熱費	24,892,169	
事務費	1,979,308	
消耗品費	3,555,183	
地代家賃	756,000	
支払保険料	841,639	
修繕費	12,008,346	
租税公課	9,569,220	
減価償却費	1,799,998	
一括償却資産償却額	36,540	
接待交際費	642,981	
旅費交通費	355,722	
通信費	1,892,892	
支払手数料	9,914,701	
貸借料	3,433,507	
諸会費	498,600	
購読費	205,983	
雑費	874,648	
合 計		215,331,425

株主資本等変動計算書

株式会社 シルク温泉まびこ

自平成30年 4月 1日
至平成31年 3月31日

(単位：円)

	株 主 資 本				株 主 資 本 計 合 計	新 株 予 約 権 純 資 産 合 計
	株 主 資 本		資 本 剰 余 金			
	資 本 金	資 本 準 備 金	資 本 剰 余 金 の 他	資 本 剰 余 金 の 他		
当期首残高	50,000,000			5,685,633	68,185,633	68,185,633
当期変動額						
当期純利益				8,969,810	8,969,810	8,969,810
当期変動額合計				8,969,810	8,969,810	8,969,810
当期末残高	50,000,000			14,655,443	77,155,443	77,155,443

	利 益 剰 余 金		の 内 配 賦	
	利 益 剰 余 金	剰 余 金 の 他	利 益 剰 余 金	剰 余 金 の 他
当期首残高	12,500,000		12,500,000	
当期変動額				
剰余金の内訳科目間の振替				
当期純利益				
当期変動額合計				
当期末残高	12,500,000		12,500,000	

個 別 注 記 表

株式会社 シルク温泉やまびこ

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成している。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

原材料・商品 …………… 最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 …… 平成10年4月1日以後に取得した建物及び平成28年4月1日以後
に取得した建物付属設備・構築物は定額法、
それ以外は定率法

無形固定資産 …… 定額法

収益及び費用の計上基準

原則として収益は実現主義により、費用は発生主義により計上している。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 …………… 税込方式で計上している。

2. 貸借対照表に関する注記

固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額 …… 27,897,109 円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

①当事業年度末日における発行済株式の数 …………… 1,000 株

②当事業年度末日における自己株式の数 …………… 0 株

③当事業年度末日に行う剰余金の処分に関する事項

令和元年6月12日開催予定の定時株主総会において決議を予定している。

別途積立金の積立額 …………… 7,000,000 円

次期繰越利益剰余金 …………… 2,655,443 円

4. 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額 …………… 77,155 円 44 銭

1株当たりの当期純利益金 …………… 8,969 円 81 銭

監査報告

私監査役は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの第15期事業年度の貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表、事業報告および付属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和1年5月24日

監査役 小林 辰 美

監査役 柴 田 誠 一

第16期事業計画案及び予定損益計画案

1 事業計画案

ホテルシルク温泉やまびこの基本方針「ほっこりとしたふれあい」を念頭におき、人、街、会社が元気になるように、社員のモチベーションを向上させ、いつも笑顔でお客様に喜んでいただける接客をしております。

予算計画

総売上	365,510千円	(前年実績、361,453千円、4,057千円増)
営業利益	1,020千円	(前年実績、4,012千円、△2,992千円)
経常利益	6,005千円	(前年実績、9,182千円、△3,177千円)

今期の具体的な取り組み

- 1 宿泊では、閑散期の稼働率を上げるため旅行会社2社と契約を結び、団体、新規客の誘致および休日のお昼の宴会の受注を上げるため法要、同窓会の新規開拓に取り組んでまいります。また、客室のハード面、ソフト面の充実に取り組んでまいります。
- 2 売店では、商品の販売実績により、四半期ごとに入替を実施してまいります。日帰り入浴のお客様に割引券の配布を行い、購入の促進に取り組んでまいります。
- 3 温泉では、入浴券付プランの企画販売(バーベキュー、昼食)及びお客様から要望の多い、施設のハード面、ソフト面の充実に取り組んでまいります。
- 4 費用面では、水道光熱費、燃料費、衛生費の削減に全社で取り組んでまいります。10月消費税増税に伴い、システムの変更費用(1,000千円)を概算ですが計上しております。
- 5 その他では、今年度より有給休暇取得の義務化に伴い、働き方改革の一環とし2月上旬に5日間の完全休業に取り組んでまいります。また、物価の高騰、消費税増税、お客様の要望等、現料金設定では厳しい状況下になり見直しを検討してまいります。

中長期の計画として、

- 長期勤続によるキャリア形成を図るため、35歳までの社員を募集してまいります。
- フィールドゴルフ場下の一角にトイレを設置し、屋外施設の拡充に取り組んでまいります。
- 今期試験的に実施する2月の完全休業を精査し、次年度以降は年2回又は1回長期での完全休業化に取り組んでまいります。

年々入浴者数の減少が懸念されますが、役員、社員一丸となり早めの企画推進に取り組んでまいります。

株主様をはじめ、皆様方の格別のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2 予定損益計画案

予定損益計算書

株式会社 シルク温泉やまびこ

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

科 目		金 額	
【売上高】			千円
宿 泊 売 上		218,340	
売 店 売 上		54,380	
温 泉 売 上		75,420	
自 然 の 郷 売 上		6,830	
フ ィ ー ル ド 売 上		250	
業 務 委 託 売 上		6,480	
自 販 機 売 上		3,810	365,510
【売上原価】			
期首棚卸高		1,140	
仕入高		145,250	
合 計		146,390	
期末棚卸高		1,140	145,250
	売上総利益		220,260
【販売費及び一般管理費】			219,240
	営業利益		1,020
(営業外損益の部)			
【営業外収益】			
受取利息		5	
雑収入		4,980	4,985
	経常利益		6,005

販売費及び一般管理費内訳書

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

科 目				金 額	
				千円	
役	員	報	酬	3,380	
給	料	手	当	69,910	
法	定	福	利	10,900	
福	利	厚	生	3,100	
シ	ル	バ	ー	委 託	9,100
広	告	宣	伝	費	7,320
運				賃	150
サ	ー	ビ	ス	費	2,400
燃		料		費	17,040
衛		生		費	14,440
リ	ー		ス	料	150
外		注		費	8,680
水	道	光	熱	費	24,940
事		務		費	3,080
消	耗		品	費	3,600
支	払	保	險	料	840
修		繕		費	10,570
租	税		公	課	9,500
減	価	償	却	費	840
接	待	交	際	費	720
旅	費	交	通	費	360
通		信		費	2,040
支	払	手	数	料	10,200
賃		借		料	3,480
諸		会		費	440
購		読		費	300
地	代		家	賃	760
雑				費	1,000
合			計	219,240	

